

令和7年度 旭中学校 学校評価書（計画）

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分は評価結果を受けて記入する

1 教育目標（目指す生徒像含む）

《基本目標》

人間尊重の精神を基盤に、豊かな心と個性をもち、自主性・創造性を発揮して、たくましく生きる力を培い、広く世界を見つめながら、進んで社会の発展に貢献できる人間を育成する。

《目指す生徒像》

- ・健康でやる気のある生徒（健康な体と気力）
- ・自ら学び創造力のある生徒（自主的な学習）
- ・心豊かで思いやりのある生徒（豊かな心）

《生徒の指標》

「世界の旭中学校 私がそれを代表する」

1. 私たちは、心をこめてあいさつします。
2. 私たちは、時間を守り、自ら学習に励みます。
3. 私たちは、他人の気持ちを尊重し、助け合います。
4. 私たちは、進んで働きます。
5. 私たちは、社会のルールを守り、自信をもって生き抜きます。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「これからの社会に生きる人を育てる」という崇高な営みに携わる公立中学校として、
また、多くの卒業生を輩出し、地域から愛される伝統ある旭中学校として、信頼される学校をめざす。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 【個人の尊重】「一人一人の生徒、スタッフはかけがえのない存在」との考えに基づいて学校経営を推進する。
- (2) 【調和のとれた教育課程】急激な変化や様々な困難に直面することが予測されるこれからの社会を生き抜く人間を育むため、これまでの教育課程の特長を踏まえつつ新たな教育課題に対応した、知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成、実施する。
- (3) 【信頼される学校】「凡事徹底」により信頼される学校をめざす。特に安全・安心に関わる「当たり前」の徹底を図る。
- (4) 【地域とともにある学校】保護者や地域との円滑なコミュニケーションを基盤に、地域とともにある学校づくりを推進する。
- (5) 【職場改善と職員のウェルビーイングの向上】「働きやすい職場、働き甲斐のある職場」を実現し、職員のウェルビーイングとチームワークを高める。
- (6) 【業務の重点化】マンパワー、予算、時間などの「資源」の有限性に着目し、取組を重点化する。その際、「ゴール」を明確にして職員と共有する。

＜本市の重点施策・事業との関連＞

- (1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）
 - ① 基本的考え
家庭、地域、企業等とのつながりを深め、地域との協議を学校経営に反映させながら学校づくりを進め、地域から信頼される学校をめざす。
 - ② 主な取組
・「地域未来会議」の開催 ・「SDGs宮っ子まちづくりプロジェクト」のモデル校実践
・地域協議会主催の地区懇談会における、防災教育の取組に関わる基盤固め（災害時に貢献できる中学生を地域で育成する取組）・地域行事や地域ボランティアへの生徒の積極的な参加 ・休日の部活動の地域移行・連携（展開）の推進
- (2) 小中一貫教育・地域学校園
 - ① 基本的考え
義務教育9年間を通じた系統的な指導と地域の教育資源を活用した特色ある教育活動により、生徒の学力保障と学校生活適応を目指す。また、教職員の相互理解を一層深めることにより教育活動の充実を図る。
 - ② 主な取組
・校長会議、運営会議、各部会の活動の推進による地域学校園の取組充実
・あいさつ運動の実施（小学校、PTA、地域との連携） ・特別支援学級交流会の実施
・小学校6年生の進学先中学校訪問の実施 ・小学校との教育計画の共有と情報交換の推進 など
- (3) 不登校対策
 - ① 基本的考え
不登校生徒が多い現状から、不登校対策が本校の重点課題の一つであることを全職員で共有し、未然防止と早期対応に重点を置く。早期対応においては、組織的な対応を図り、家庭との連携はもとより必要に応じて関係機関等との連携・協力を推進する。
 - ② 主な取組
・認め励ます教育の推進と共感的な人間関係の育成
・小学校との情報交換やWEBCUを生かした学級経営と教育相談の充実
・校内教育支援センターの効果的な活用
・SC、校内教育支援センター支援員、関係機関等との連携強化
- (4) GIGAスクール構想
 - ① 基本的考え
市のGIGAスクール構想のステップ2の目標「教科の学びを深め、学びの本質に迫る」に基づき、生徒が自らの課題を

解決する道具として主体的に活用することができるよう指導・支援にあたる。また、校務のDXを推進する。

② 主な取組

- ・各教科における「主体的・対話的で深い学び」を実現するための活用
- ・生徒会活動等における生徒の主体的な活用
- ・デジタルシチズンシップ学習の充実
- ・総合型校務支援ソフト「ミライム」などの積極活用

(5) 宇都宮学

① 基本的考え

郷土・宇都宮について理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにするため、総合的な学習の時間において副読本を活用した学習を中心に「宇都宮学」を推進する。

② 主な取組

- ・副読本を活用した総合的な学習の時間における探究的な学習
- ・総合文化センターで実施する文化祭での探究学習の成果発表
- ・学校図書館における宇都宮学コーナーの設置

4 教育課程編成の方針

3 学校経営方針の(2) に書いた通り。その際、地域の教育資源等を生かし、体験を通して学ぶ機会の確保に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 【個人の尊重】に関して

ア それぞれの生徒のニーズを把握して教育活動を工夫するとともに「認め励ます教育」を展開し、相談学級や日本語指導を含め、本校が担う多様な教育機能を果たす。

イ 共生社会の構成者として必要な資質・能力を育む。

(2) 【調和のとれた教育課程】に関して

ウ 「旭中学校生徒の誓い」を生徒に日々の生活で意識させ、実践と振り返りの往還により社会に生きる人間としての人格の陶冶をめざす。

○エ 特に主体的に学習に取り組む態度に着目し、「宇都宮モデル」を活用した授業改善に取り組む。

○オ デジタルシチズンシップ教育、共生社会の構成者として必要な資質・能力を育む教育、防災教育の一層の充実を図る。

(3) 【信頼される学校】に関して

カ いじめの未然防止や早期対応等に関わる取組と不登校対策の一層の充実を図る。

キ 安全点検など施設管理の徹底を図る。

(4) 【地域とともにある学校】に関して

○ク 生徒のボランティア活動など地域の教育資源を活用した教育活動を推進する。

○ケ 地域、隣接校と協働し、休日の部活動の地域移行・地域連携を推進する。

(5) 【職場改善と職員のウェルビーイングの向上】

コ 業務負担の軽減や資質向上を実感できる取組などにより職員のウェルビーイングの向上を図る。

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 生徒肯定的回答 85%	① 授業においてタブレット型パソコンを活用した情報の収集や他者との情報交換を通して自分の考えを深め、自らの課題を設定する力を育む。 ② 設定した学習課題の解決に向けて、学びを深める態度を育成する。		【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 85%	① 授業や学校行事を通して多様な価値観を学び、学校、学級の一員としての自覚を高め、自分の役割を果たす実践力を高める。 ② 道徳の授業を通し、いじめ問題について考え、いじめをなくす取り組みを自分ごととして考えさせる。		【達成状況】 【次年度の方針】

	<p>A 3 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 85%</p>	<p>① 定期テスト毎に学習計画と反省を書かせ、自分の目標と到達度を視覚化することを通して、粘り強く取り組む態度を育てる。</p> <p>② 生徒が前向きな目標を立てられるように、適切な進路指導や丁寧な教育相談を行うとともに、生徒の努力を認め、励ます。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	<p>A 4 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90%</p>	<p>① 定期健康診断を実施し、結果を通知することで、自身の健康に関心をもたせる。</p> <p>② 避難訓練を実施し、自らの命を守り抜くための行動力を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	<p>A 5 生徒は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① キャリア教育アンケートやキャリア・パスポートを活用して自己の基礎的・汎用的能力のうち、伸ばしたい力やそのための課題を明確にして、自身の成長を確認できるようにする。</p> <p>② 道徳、学級活動、総合的な学習の時間の中で、自己や自分の将来について深く考えることを通して、夢や目標を見つけ、その実現に向けて努力する力を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	<p>A 6 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80%</p>	<p>① タブレットを活用し、伝えたい事柄について情報を収集したり、表現を調べたりし、それらを他者とのやり取りや発表に生かす態度を養う。</p> <p>② 関心のある事柄や日常的・社会的な話題について、やり取りさせたり、発表させたり、書かせたりする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A 7 児童生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85%</p>	<p>① 地域ボランティアへの参加や総合的な学習の時間(宇都宮学)の活動等から宇都宮の良さを多く体験できるように工夫する。</p> <p>② 地域で体験したことや地域について学習したことを発信できるように工夫する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
2ー(2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	<p>A 8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90%</p>	<p>① 生徒用タブレット型ノートPC等を積極的に用いて調べ学習を行い、課題をまとめ、発表することで理解を深める。</p> <p>② 年鑑や統計・専門など、様々な図書を利用した調べ方を理解し、目的に応じた適切な参考図書を選び、有効に活用させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
2ー(3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	<p>A 9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80%</p>	<p>① 各教科の学習や総合的な学習の時間の中で、「持続可能な社会」について学ぶ機会を活用し、自己を取り巻く環境について考えることで、「持続可能な社会」に対する理解を深める。</p> <p>② 地域のボランティア活動の機会を増やししながら、校内でもごみの分別等を推進し、環境を大切にする心を養う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
3ー(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	<p>A 10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p>	<p>① 教育相談部会、特別支援部会、特別支援教育校内支援委員会において情報交換をしっかりと行うと共に、報・連・相を確実にしながら素早く対応する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

	教職員肯定的回答 90%		
3-(2) いじめ・不登校対策の充実	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 95% 教職員肯定的回答 100% 保護者肯定的回答 85%</p>	<p>① 道徳や学活を軸にし、心の教育を重視し、いじめの未然防止の取り組みの充実を図るとともに、HP や各種便り、学級懇談を通して、取り組みを保護者や地域社会に積極的に発信する。</p> <p>② 教育相談の内容や QJ の結果などを十分に活用し、いじめの早期発見・早期対応、未然防止を行うとともに、保護者や生徒との信頼関係を築いていけるよう、適切な対応を心掛ける。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 80% 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 教育相談や三者面談等を有効に活用しながら、家庭との連携を密にとり、問題があれば早期対応、早期解決を目指す。</p> <p>② 心配な生徒に教職員がチームで対応することで、学校とのつながりを維持し、不登校を生まない環境作りを推進する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
3-(3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 95% 保護者肯定的回答 95%</p>	<p>① 様々な立場の教職員が連携をとりながら、生徒ひとりひとりの実態に即した指導・支援計画を立て実践する。</p> <p>② 学校行事や学級活動、生徒会活動において、生徒が主体的に活動に取り組むことができる機会を充実させ、認め励まし、生徒の自己有用感を育てる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
3-(4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化			
4-(1) 教職員の資質・能力の向上	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85%</p>	<p>① 学習課題の提示、習得・活用・探究の時間を確保し、生徒による振り返りと教師によるまとめを明確にした授業を展開する。</p> <p>② 知識・技能を活用して考えさせたり、自分の考えを表現させたりして、思考力・判断力・表現力等を育成する。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒 4.7p 数値目標を上回り、達成で</p> <p>【次年度の方針】</p>
4-(2) チーム力の向上	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 学校経営のテーマや、スローガンを学年フロアへ掲示したり、印刷物の中に記載したりすることで、全職員がより意識を高めて、業務を進められるようにする。</p> <p>② 行事の計画を早くから検討し、共通理解を図り、全職員で同じ方向性で進められるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
4-(3) 学校における働き方改革の推進	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 80%</p>	<p>① チーム学校として、SC, SSW, かがやきルーム指導員等と連携、協力して役割分担を図り、効果的な手立てを講じる。</p> <p>② リフレッシュデーを活用し、勤務時間内に業務を終わらせるよう効率に行う意識を高める。</p> <p>③ タブレットやパソコンを利用した情報共有や生徒への問題提示等、紙印刷の手間を省くことで教員の業務縮減を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 80% 教職員肯定的回答 80%</p>	<p>① 地域学校園あいさつ運動の充実や行事等における小中の連携、中学生によるボランティア活動の充実を図る。</p> <p>② 各学校の課題を明らかにし、オンライン会議を活用して地域学校園各部会の取組を充実させる(学力向上部会・特色ある学校づくり推進部会・連携部会・学校園事務室)</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 80%</p>	<p>① 保護者会、三者懇談、各種たより等を活用し、保護者との連携を図る。</p> <p>② 社会人の方からの講演やボランティア活動を通してより良い生徒の育成を行う。PTA との連携を深め、学校運営の充実を図る。</p> <p>③ 社会体験学習や宇都宮学の学習等において地域の方々や企業との連携を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進			
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 保護者肯定的回答 85% 地域住民肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 毎月1回、校舎内、運動場等校地の安全点検を計画的、組織的に実施する。</p> <p>② 学校行事の前後や災害時発生時等、必要がある時は、臨時に安全点検を実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
6- (2) 学校のデジタル化推進	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 生徒・教職員がいつでもデジタル機器を利用できるよう、貸出環境を整える。</p> <p>② 具体的な使用例を共有して、効果的な授業実践ができるようにする。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90% 地域住民肯定的回答 95%</p>	<p>① あいさつ運動を継続し運動部とも連携して行う。あいさつの意義を生徒に伝えることを通して、校内で会う友人、先輩後輩、先生、来校者など、相手に応じたあいさつができるようにする。</p> <p>② 授業や給食は部活を通して、所作を含め指導し、あいさつの習慣化を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 90%</p>	<p>① 教職員が生徒の模範となるようきまりやマナーを守ることを率先垂範することにより、教育活動全般においてきまりを守る姿勢を育てる。</p> <p>② 交通安全教室等の取組や、生徒同士で指摘し合えるよう指導していくことで、命の重さ、ルール・マナーを守ることの重要さを認識させたうえで行動する態度を育成する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B3 教職員は、生徒が自主的な学習を進めることができるように、学習の進め方を指導している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 教職員肯定的回答 95%</p>	<p>① 自主学習の仕方や定期テストに向けた具体的な対策を、各教科の授業や学年集会等で説明し、学習の手引きを活用して効果的な学習の仕方を指導する。</p> <p>② 火曜日と木曜日の朝の読書の10分間にタブレット型PCを活用した学習活動を取り入れ、家庭での活用を見据えて生徒が自主的に取り組めるよう、学習の進め方を指導する。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B 4 教職員は、生徒同士が互いに認め合える環境作りをしている。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 85%</p>	<p>① 行事等の振り返りワークシートの中に他の生徒の取組を認める項目を設ける等の工夫をするとともに、各種便り、HP 等で学校の取組を保護者に積極的に発信していく。</p> <p>② 道徳の授業をはじめとする学習活動の中にグループ活動を取り入れるなど互いの意見を交わす場を設定し、タブレットのアプリ等も活用することで他者の考えに触れさせ、その考えを共有し、尊重し合える場を設定する。</p> <p>③ エンカウンターやインクルーシブ教育を各学年の学級活動等に位置付け、学級や集団作りに役立てる。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B 5 学校や地域は、生徒が自主的に地域の行事に参加し、活動することを支援している。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 90% 地域住民肯定的回答 90%</p>	<p>① 年間を通して地域の行事に自主的に参加する機会を設定し、地域と共に支援することで、地域貢献の意識を高める。</p> <p>② 地域行事への参加の様子を収めた写真などを、学校 HP に掲載したりすることで、生徒の達成感を高める。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B 6 学校や地域は、定期的に登校指導や下校指導を行い、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図り、「地域に愛される旭っ子」の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 生徒肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90% 保護者肯定的回答 85% 地域住民肯定的回答 90%</p>	<p>① 保護者・教職員・生徒・地域が一体となって行う PTSC あいさつ運動を計画的に行い、教職員で連携を取りながら下校指導を行う。</p> <p>② 水曜日の一斉下校の際には、交通担当教員を中心に、巡回下校指導に当たり、登下校時のマナー向上や生徒の自発的なあいさつの浸透を図る。一斉下校の際には、週ごとに学年の教諭が校門近くに立哨し下校時のマナーの啓蒙活動を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>
	<p>B 7 学校や家庭は、生徒が主体的によりよい生活習慣を確立し、心身ともにたくましく、規則正しい生活習慣を身につけられるよう支援している。</p> <p>【数値目標】 生徒肯定的回答 85% 保護者肯定的回答 85% 教職員肯定的回答 90%</p>	<p>① 学校行事や専門委員会、各教科を通して、よりよい生活習慣を身につけさせるような活動を行う。</p> <p>② 保健だより、食育だより、生徒指導だより、図書館だより、各種だよりを活用し、家庭や生徒への情報発信を行うとともに啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <p>【次年度の方針】</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所の下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印は該当箇所の下線を付ける。